学校番号	201

令和8年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)国語演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	「大学入試トライアル私大対策論理 20」(いいずな書店) 「ことばはちからダ！現代文キーワード」(河合出版) 「音訓別重要頻出漢字リアルマスター3300」(尚文出版)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

・これまでの学習で習得した「読む力」、「書く力」を活用して論理的思考を形にする。
・問題演習を通して、大学入試問題の解法を身につける。
・一年間の学習を通じて、学習の到達段階を「自己把握」しながら「既習事項」の自己検証・反復学習を行い、次の学習へとつなげていく。
・単に与えられた演習問題を解答するだけではなく、自分の進路志望を常に見直し、最適な志望校選定を目指す。

2　学習の到達目標

・論理的な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、大学入試問題の解答に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、その論理性を評価する力を養い、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・大学入試問題を解答する上で必要となる国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・文章の論理の大枠をつかみ、的確に要旨をつかめている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、文章を論理的、批判的に考える力が伸びている。 ・文章の論理を的確につかみ、自身の価値観と比較して思考することにより、創造的に考え、文章表現できる力が身についている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	基本的な解答方法を理解する [教材] ・『ナラティブと共同性』 ・『近代科学再考』 ・『暇と退屈の倫理学』 ・『善悪は存在するか』他	a:漢字、語彙問題の重要性を認識し、これまでの学習の不足分を補っている。 b〔 読 〕:文章の内容や解釈を正確に読み、適切な解答につなげている。 c:筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて文章を構成し、設問の趣旨に沿って解答をまとめようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出
	標準的なレベルの入試問題に挑戦する [教材] ・『スマートな悪』 ・『ことばの臨床社会学』 ・『「うつわ」的利他』 ・『歴史の想像力』他	a:漢字、語彙問題の重要性を認識し、これまでの学習の不足分を補っている。 b〔 読 〕:文章の内容や解釈を能動的かつ正確に読み、論理の整合性を保ちながら適切な解答につなげている。 c:筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて文章を構成し、設問の趣旨に沿って根拠に基づいた論理的かつ説得力のある解答をまとめようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出
2	発展的なレベルの入試問題に挑戦する [教材] ・『「私の他者」の生成』 ・『忘却の整理学』 ・『「窓」の思想史』 ・『反自動化経済論』他	a:専門用語や日常生活で使用する機会の少ない語彙の意味を把握し、論旨の構造を理解している。 b〔 読 〕:人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、課題文を正確に客観的に読み取っている。 c:文章の論理展開や表現を迅速に読み取って筆者の主張を理解し、設問の趣旨に沿って適切に解答しようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出
	難易度の高い入試問題に挑戦する [教材] ・『「日本的未成熟」の系譜』 ・『シンプルはいつ生まれたのか』 ・『スポーツ国家アメリカ』 ・『はじめてのニュース・リテラシー』他	a:専門用語や日常生活で使用する機会の少ない語彙の意味を把握し、論旨の構造を理解している。 b〔 読 〕:人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観から批判的に吟味することを通して、課題文を正確かつ客観的に評価している。 c:文章の論理展開や表現を迅速に読み取って筆者の主張を理解し、設問の趣旨に沿って自身の思考を正確かつ簡潔に言語化しようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出

3	入試対策の完成を目指す ［教材］ ・『ひとはなぜ「認められたい」のか』 ・『精神の非常時』 ・『日本文学を読む』 ・『政治にとって文化とは何か』他	a：これまでに学習した内容を踏まえ、課題の文章を正確に客観的に理解している。 b〔 読 〕：文章の構成、論理の展開などを的確に捉え、論点・要旨を明確にしながら内容を捉えている。 c：本文要旨と自身の価値観を対比させ、設問の趣旨に沿って、最適な解答にたどり着いている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[ ]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと … （ ）時間

・書くこと … （ 25 ）時間

・読むこと … （ 45 ）時間